

事業所名 安城市立サルビア学園

公表日

2025年 3月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	・現在対象のお子様、教具教材の使用を必要としないため、適正か判断はできません。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	・おおむね1名の訪問で十分です。	・状況によって単独または複数での訪問を行っています。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	・保育所等訪問毎に情報提供し、目標についての振り返りを実施しています。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・年2回の振り返りを実施して、保護者の意向を確認しています。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・質問3・4に同じです。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	・第三者による外部評価は実施していません。	・2024年度より訪問先事業所からの事業所評価、事業所における自己評価、保護者からの事業所評価を実施し、改善策を検討してきます。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・研修に参加する機会を確保し、職員の資質の向上を図っています。	
適切な 支援の 提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0		・支援計画作成時には、訪問先や保護者の意向等を含めて、多面的に検討していきます。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・対象児の保育所等訪問支援に係る職員と情報共有し、児にとってより良い支援を考えています。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	・計画書の作成前から、訪問先の園長および担当者と連携し、同じ方向で計画立案ができるようにしています。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・計画書は常に確認できるように個人ファイルを作成し、支援につながるようにしています。	・保護者への報告では、丁寧な説明を心掛け、支援内容に不明な点等があれば、相談しやすい雰囲気心がけていきます。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	・必要と判断すれば行いますが、対象児の園生活に支障のないようにしたいと思っています。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・児、家族、訪問先と情報共有しながらそれぞれの意見を尊重しながら支援をしています。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・質問11と同じです。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・その日の直接支援は1人だが、訪問した時の様子や支援内容は、園長及び児童発達支援管理責任者に報告し統一した支援ができるようにしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	・できる限りその日のうちに、振り返りをするようにし、気づいた点は次の支援に活かせるようにしています。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	・計画書の作成前から、訪問先の園長および担当者と連携し、訪問先の支援内容を確認した上で支援を実施しています。	
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	・訪問後、実施記録を残すことで、支援の振り返りができています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・訪問毎に訪問先の園長及び担当者との情報共有するとともに、保護者とモニタリングを実施し支援の振り返りと見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・担当の相談支援事業所が同じ施設にあるので、情報共有できています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	・医療機関、行政等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っています。	・年2回のネットワーク会議の内容を検討してより良い支援ができるようにしていきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	・来年度の就学に向けて、教育委員会及び学校側に情報を共有しており、必要に応じて、直接子どもをみてもらふ機会を設けています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	・保育所等訪問支援に関する研修があると知識が深まりより良い支援につながると思います。情報が欲しいです。	・地域の同サービス事業所との研修会が年1回開催されており、参加しています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	・自立支援協議会の子ども部会に月に1回参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・年2回のモニタリングと訪問後の報告等を通してこどもの状況や課題を保護者と共有しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・保育所等訪問支援利用者に対して、家族支援プログラムや研修の情報提供は行っていません。	・HPで研修の案内をしているが、保育所等訪問支援の利用者にも報告の際を利用して伝えるようにしていく。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・説明を実施してから訪問を開始しています。	
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	・保育所等訪問支援のパンフレットを提示し、訪問開始前に目的等を説明しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・計画作成前に、家族及び本人と面談し、家族の意思確認を実施して計画書を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	・保護者に確認し同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・モニタリングを実施しています。毎回の訪問後の報告の際にも保護者の思いを聞いたり、悩み等相談に応じたりしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	・保護者会は、訪問支援の対象者に交流する機会を設けてはいません。	・今後必要性があるかどうかを含め検討していく。現在実施しているあんステップまつりに声をかけるかも検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	・重要事項説明時に苦情解決窓口について説明し、保護者への周知を図っています。相談や申入れがあった場合は、園長及び主任がすぐに対応できるように体制を整えています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		・HPに保育所等訪問支援事業の支援内容に関する情報を掲載しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・訪問支援に関する事以外に訪問先で得た情報等は、家族にも口外していません。	・重要事項説明時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意をとる方向で勤めていく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	・モニタリングや訪問後の報告等で保護者とコミュニケーションをとるときは、分かりやすく話すように心がけています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	・訪問毎に訪問先の担当者との情報共有し、相談があればその都度、話をすることができています。相手が理解しやすいように具体的にアドバイスしています。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	・カンファレンスという形では実施していないが、訪問先の園長及び担当者とこどもの状況や支援内容について話をしています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	・訪問毎に支援内容やこどもの様子を報告し、次の訪問の方向性について話をしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・対象児の家族構成や成育歴等支援に必要な情報や訪問支援の内容等の取り扱いについて、訪問前に説明しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	・質問37に同じです。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・本事業に関しては策定し、発生を想定して訓練を実施していません。訪問中は、訪問先のマニュアルに合わせることを想定し、非常時には連絡がとれるツールが必要かと思えます。	・各種マニュアルについて、見直し確認をしていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・既存の安全計画に保育所等訪問支援事業に関する内容は組み込まれていません。	・非常時に連絡がとれるツール等必要事項を検討していきます。作成後は訓練をしていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	・保育所等訪問支援に携わってからヒヤリハットが発生したことはありません。	・ヒヤリハットを訪問先と共有し、原因を探ったり、再発防止を検討したりする体制を整えていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・訪問支援員も虐待防止の研修に参加したり、自己チェックを通して適切な対応に努めています。	・保育所等訪問支援での、虐待や身体拘束について方針を検討していきます。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	・訪問支援員も身体拘束適正委員会、研修に参加しています。		